

GNV データ分析方法

GNVの「ニュースビュー (NV)」と「マンスリーレポート」で行う分析は、日本国内における国際報道の量や質といった特質や傾向を見出すため、GNV独自のデータベースを用いて新聞社の分析を行っています。ここではデータベースの前提とするもの、及び主な分析項目についてご紹介します。

1. 分析対象

主に朝日新聞、読売新聞、毎日新聞の3社。インターネット上のデータベース、「聞蔵Ⅱビジュアル」「ヨミダス歴史館」「毎索」を閲覧し、東京朝刊を分析対象としています。

2. 国際報道の基準

日本国外の世界に関する理解に役立つ報道を国際報道とみなします。そのため、データベースの作成にあたっては、以下の基準に従って国際報道をピックアップしています。

<原則>

- ①「国際面」として明記されている記事
 - ②ニュースの発生場所が国外である記事
- (①、②はいずれかにあてはまるものとします。)

ただし、より正確に国内報道と区別し、また①②の原則に当てはまらないが世界への理解を促す記事を漏らさないために、次の例外を設けています。

- ・ 国際会議、会談、条約、協定など、国際的な会議や取り決めが焦点に当てられている記事は、場所を問わず国際報道とします。逆に、会議の場所が国外であっても、焦点が日本の動きに当たっていた場合、国際報道とはみなしません。

- 北方領土や竹島、尖閣諸島など、領有権が日本と他国の間で争われている地域は、国際報道とみなします。
- 拉致問題や従軍慰安婦問題といった、日本と他国にまたがって進行する問題についての記事は、原則②に従いニュースの場所が国外であるもののみ国際報道とします。
- 為替レートに関する記事は、経済情勢や社会情勢に関する情報を伴わない限り扱いません。
- 日本企業の海外進出といった、場所が国外であっても日本の集団や個人の活動が焦点に当てられ現地の情報に触れていないものは、国際報道とみなしません。

3. 紙面番号

新聞社によって紙面番号の表記が異なるため、下の表のように7項目に統一して、データベースを作成しています。

紙面番号	朝日新聞	毎日新聞	読売新聞
国際面	(1・2)外報、アジア、外報	国際面	外 A・B
1面	1 総合	政治面	一面
2・3面	(2・3)総合	(二・三)面	(二・三)面
それ以外の総合面	4・5・6 総合面	総合面	該当なし
政治面	政治、政策総合、選挙、内政	内政面	政治
経済面	(1・2・3・4・5)経済	経済面	(A・B)経
社会面	(1・2・3・4)社会、社会	社会面	社会、(2・3)社

4. カテゴリー分け

分野ごとの報道量を見るために、見出しで判断し以下の16項目のカテゴリー分けを記事に対して行っています。基本的に一つのカテゴリーに分類しますが、一つに絞れない場合2つまで分類します。

- 政治...政府の動向、政策、選挙、外交など、政治に関する事柄。
- 経済...国内外の経済情勢や政策、貿易など、経済に関する事柄。

- ・軍事...国家に限定せず、武力衝突を伴わない軍事関連のもの。
- ・戦争/紛争...武力衝突を伴う出来事のうち、①軍が処置するレベルのもので、②組織的に武装した集団が、③組織的に大規模に武力行使をしたもの。またはそれに伴う和平過程や章典。
- ・デモ/暴動...ある特定の意思・主張を持った人々が集まり、集団でそれを他に示す行為。また、武力行使のうち、警察では処置しきれない程度のもので、「戦争/紛争」に含まれないもの。
- ・テロ...「テロ」と表現されているもの。
- ・事件...刑事・民事の事件に関するもの。意図して起こったできごと。また、武力衝突を伴う出来事のうち、警察で処置できるもの。
- ・事故...交通事故、建築物の崩壊など、予想していなかった悪い出来事、不慮の事態。
- ・環境/公害...気候変動を始めとする環境問題や公害問題や被害に関する事柄。
- ・気象/災害...気象状況や自然災害、それらに伴う問題や被害に関する事柄。
- ・保健/医療...公衆衛生、医療に関する事柄。
- ・社会/生活...社会全体の様子や問題、あるいは、市民の生活に焦点をあてたもの。
- ・科学/技術...先進開発や技術革新、新たな研究成果等を扱ったもの。
- ・芸術/文化...国や地域の伝統的風習や芸術、文学、音楽といった文化的活動。
- ・スポーツ...スポーツに関すること。ただしスポーツを通じて日本国外の世界の姿など国際的な視野や理解が深まるものに限る。(単に試合・大会の内容や勝敗を取り上げた記事など、世界に関する理解を促さないものは当てはまらないものとする。)
- ・教育...幼稚園から大学までの学術的な出来事、傾向など、教育に関する事柄。

5. ポジティブ/ネガティブ/中立

見出しから、①記事のトピック、②記事の取り上げ方の二段階で記事のポジティブ（以下 P）・ネガティブ（以下 N）・中立 を判断します。

①「記事のトピック」とは、「何について書かれているか」を意味します。ニュースの詳しい内容ではなく、大枠で判断し、ニュース内の「出来事」を優先してトピックを抽出しています。

②「記事の取り上げ方」とは、①のトピックが、その記事内でどういった角度から記事化されているか、記事がそのニュースの中でどのような事実に注目しているか、ということです。

①及び②については、以下に注意してデータベースを作成しています。

- ・特別な知識がない状態でする判断であることを前提とします。
- ・PかNかが明らかな場合にのみPやNの判断を行います。PかNかが明らかでない場合や、自身で判断に迷う場合、個々人でPかNか意見の相違が想定される場合は、中立とします。
- ・立場によって判断の割れる会議や裁判に関する記事については中立の判断をしています。

6. 暴力性の有無

記事の見出しで判断し、記事内容に暴力性を含むか否かを調査します。なお「暴力性」とは「他の人間や物（建物や動物を含む）に対して行った暴力行為（物理的なものに限る）」とします。

7. 宗教との関連性

記事が宗教と関連性を持つか否かを調査するための項目です。

判断基準は、宗教、もしくは宗教を想起させる言葉（「イスラム」、「キリスト」など直接的なものから、「モスク」、「教会」など建物も含む）が見出しに出ていることとします。

※「IS」、「イスラム国」の表記について

...「IS」だけでは宗教を想起できないとして否、「イスラム国」では宗教と関連有としています。

8. 日本との関連性

国際報道のなかでも、日本と関連性があるといえるものを調査するための項目です。日本と関連性のある報道とは、日本や日本政府、日本企業、日本の団体、日本人、他日本を想起させる語句が見出しに入っているものとします。

9. 関連国

どういった国・地域が国際報道として取り上げられているのかを調査するための項目です。「関連国」とは、この取り上げられている国・地域のことです。なお、国と地域の扱いについては、国連統計部（UNSD：United Nations Statistics Division）の区分に依拠しています。

記事の関連国を特定する際、下記の基準（①→②の順に判断）に従います。

<判断基準>

- ①出来事の発生場所がどこであるのか。
- ②見出しに登場する政府や機関がどのようなものであるのか。

※ 例外（国際会議に関して）

- ①見出しに開催場所がある場合、開催場所を関連国に追加。
- ②見出しにない場合、開催場所は重要でないと判断し、関連国には含めない。
- ③見出しに国名がある場合、記載された国名を関連国に追加。

(以上)

作成日：2016.11.11 / 情報更新日：2018.04.08